

すまい・景観から考える まちづくりフォーラム

入場
無料

平成21年2月6日(金) 10:15~16:30
ホテルニューオータニ長岡 NCホール

景観から考えるまちづくり Kengo KUMA



すまいから考えるまちづくり Yuko SEKI



プログラム

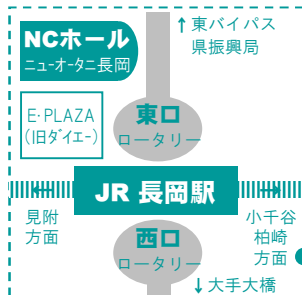
- 10:15~ 開演 (9:30開場)
- 10:30~ すまいから考えるまちづくり 関 由有子 氏
- 13:00~ リレートーク~魅力あるまちづくりに向けて~
 - ・ 摂田屋の景観・まちづくり事例
 - ・ 大湯温泉の景観・まちづくり事例
 - ・ 小木のすまい・まちづくり事例
- 15:00~ 景観から考えるまちづくり 隈 研吾 氏
- 16:30 終演

アクセス

JR長岡駅東口から徒歩1分

〔会場には一般用の駐車場はありません〕
来場には公共交通機関をご利用下さい

申込 裏面をご覧ください



主催 新潟県土木部都市局
都市政策課、建築住宅課

講師 & 事例地区の紹介

隈 研吾 氏



景観から考える
まちづくりとは

1954年横浜生まれ。1979年東京大学建築学科大学院修了。コロンビア大学客員研究員を経て、隈研吾建築都市設計事務所主宰。2001年より慶應義塾大学理工学部教授。1997年「森舞台/登米町伝統芸能伝承館」で日本建築学会賞受賞、同年「水/ガラス」でアメリカ建築家協会ベネディクトス賞受賞。2002年「那珂川町馬頭広重美術館」をはじめとする木の建築でフィンランドよりスピリット・オブ・ネイチャー 国際木の建築賞受賞。近作にサントリー美術館。著書に「負ける建築」「新・都市論TOKYO」「自然な建築」など

摂田屋の 景観・まちづくり



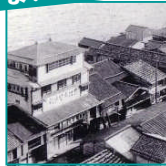
摂田屋は三国街道の要衝であり、古くから酒、味噌、醤油などの蔵が集まる「醸造の町」としても知られている。歴史有る建物が織りなす情緒ある街並み景観などの歴史的資源を活かしたまちづくりを目指している。(NPO 法人 醸造の町摂田屋町おこしの会)

大湯温泉の 景観・まちづくり



大湯温泉では、新たに整備した共同浴場と周辺広場を活用したまちづくりや景観形成のルールづくりについて住民主体で検討を行い、温泉街らしい風情と活気にあふれる街並み景観づくりを目指している。(湯之谷温泉郷・尾瀬ルート活性化委員会 PR・景観部会)

小木の すまい・まちづくり



小木は金銀の積出港、北前船の寄港地として繁栄した歴史を持ち、当時の町割りや、歴史的建造物が多く残っている。これら歴史的資産を紹介するマップづくりを通じたすまい・まちなみの魅力再発見活動を行っている。(町人文化の街おぎ振興組合)

コメンテーター 渡辺 誠介 氏



1988年長岡技術科学大学院建設工学科(修士課程)修了、東京大学大学院都市工学専攻(博士課程)修了、ロンドン大学等を経て、1994年より長岡造形大学環境デザイン学科(現 建築・環境デザイン学科、准教授)。専門: 観光まちづくり、都市計画、中心市街地活性化

関 由有子 氏



すまいから考える
まちづくりとは

上越市出身。京都とフィンランド在住を経て11年前に上越市に戻る。雁木と町家の伝統的な都市景観を再発見し、自身も雁木通りの古い町家で仕事をしている。高田の町家は都市住宅としての普遍的な形態に加えて、豪雪という風土を 수용するための建築的な特徴が多く、雁木で結ばれる共同体精神が継承されてきた。それらを活かした自前のまちづくりを目標に、上越市高田の活性化と情報発信に取り組む市民団体「あわゆき組」を結成し、魅力的な活動を実践している。(一級建築士・せきゆうこ設計室主宰)

申込み・問い合わせ先

はがき・メール・FAXで「すまい・景観から考えるまちづくりフォーラム参加希望」と明記の上、参加希望者の住所、氏名、所属、電話番号、Eメールをご記入の上、左記まで申し込んでください。(受付は先着順です、満席の場合のみご連絡します。) ※ お知らせいただいた情報は、参加者名簿の作成とフォーラムに関するご連絡のみに使用します。

〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1
新潟県庁建築住宅課 街並み推進係 宛
電話 025-280-5442 (直通)
FAX 025-285-6840
メール ngt160030@pref.niigata.lg.jp

(FAXでの申し込みにご利用下さい)

すまい・景観から考えるまちづくりフォーラム参加希望 → FAX 025-285-6840

お名前		所属	
ご住所			
電話番号		FAX	
Eメール			
連絡欄			